

平成22年度
新潟大学歯学部同窓会学術セミナーのご案内

そうだったのか！義歯補綴治療
～超高齢社会への対応～

平成22年度同窓会学術企画第3弾「そうだったのか！義歯補綴治療 ～超高齢社会への対応～」の募集案内をさせていただきます。

近年の超高齢化社会において、無歯顎になってからの期間が長く、顎堤が極度に吸収した患者様に義歯を装着する機会も増えてきていると思います。しかし、このような難症例に対し、どのような点に注意して義歯を製作すれば、患者様に満足していただき、かつQOLを高めることができるのか、また患者の義歯に対する不満にどう対処すればよいのか、疑問、悩みはつきないのではないのでしょうか。

今回の学術企画では包括歯科補綴学分野のご協力をいただき、義歯補綴治療の講義、および実習を企画致しました。講師は本学の補綴分野の臨床、教育をリードされてきた野村修一教授にお願い致しました。このセミナーで皆様の日々の臨床における義歯製作の悩みを一気に解消してください。

- 日 程** 平成23年2月20日(日)9時～16時
- 形 式** 講義・実習
- 会 場** 医歯学総合病院（歯系）3階大会議室、新潟大学歯学部5階実習室
- 定 員** 20名
- 参 加 費** 2万円（昼食代、材料費を含む）
- 申し込み方法** 3ページに記載
- 振り込み先** 受講申し込み受付票に指定の口座
- 締め切り** 平成23年1月21日（金）
- 問い合わせ先** 同窓会学術（gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp）

※当日の申し込みはできませんのでご注意ください。

※申し込みが定員に達した場合は同窓会学術のホームページにてお知らせいたします。

※自家用車の駐車は医歯学総合病院の駐車場をご利用下さい。

※今年度よりキャンセルの場合、基本的に受講料の返金はいりません。ただし、代理出席は可能です。受講者が変更になる場合には事前にご連絡ください。

主催：新潟大学歯学部同窓会、新潟大学歯学部

そうだったのか！義歯補綴治療 —超高齢社会への対応—

長寿化にともなって無歯顎の期間が長く、顎堤が極度に吸収した症例と遭遇することが増えていきます。調整を繰り返しても上顎では脱離しやすい、下顎では床下粘膜の疼痛が消えないとの訴えが続きます。上顎では辺縁封鎖の不足、下顎では安定不良による動揺に起因することが多いようです。特に下顎では顎堤吸収が大きいほど、義歯の安定の面では唇・頬や舌からの側方圧の影響が相対的に強くなることから、人工歯の排列位置や義歯外形は筋圧のバランスがとれたスペースに一致させることが重要となります。

また、高齢者では長年使用してきた義歯への執着が強いことや、新しいものへの適応に時間がかかることから、新義歯の製作が必ずしも主訴の解消とはならない難症例もあります。このような場合、旧義歯から製作した複製義歯を、咬座印象用トレーや人工歯排列の参考にして新義歯の床縁や咬合関係を決めていく方法は有効です。この場合の複製義歯は直接口腔内で使用するのが目的ではないので、高い精度は必要とせず、製作も比較的簡便です。

今回のセミナーでは、高齢者における有床義歯補綴治療の勘所や難症例への対処法を、実習を交えて紹介します。

実習内容：

1. Biometric trayの製作

顎堤が高度に吸収した上顎で辺縁封鎖を得るには、義歯床縁に吸収に応じた厚みを与えて周囲粘膜面との接触面積を拡大することが重要です。生体での計測結果から唇や頬の粘膜を有歯顎時の適切な位置に保持して印象する方法としてBiometric tray印象法があります。

下顎ではトレーの背面を堤状に盛り上げて、唇・頬・舌を有歯顎時の位置に保つようになります。この際に、堤状に盛り上げた部分が筋圧のバランスがとれたスペースに収まっていることが重要です。これは口腔内で安定する咬合床を製作する勘所にもなります。

2. 複製義歯を用いた咬合印象用トレーの製作

使用中義歯を複製用に印象し、義歯床部分を流し込みレジンで、人工歯部分をワックスで複製義歯を製作します。この複製義歯を用いて、咬合採得と咬合印象を行います。さらに、ワックス部分は人工歯排列の指標となります。

タイムスケジュール：

9：00～10：30 講義と説明

10：30～13：30 実習1（途中1時間の昼食）

13：30～15：30 実習2

参加の先生には二班に分かれて、実習1、2を交代で行ってまいります。

15：30～16：00 質疑応答

準備するもの：白衣、筆記用具

上下無歯顎研究用模型（無ければこちらで用意します）

インストラクター：野村修一教授（チーフ）ほか包括歯科補綴学分野スタッフ

申し込み方法

- *今年度よりセミナー申し込み方法がメール（携帯メール可）での受付のみと変更になりました。FAXによる受付は行いません。お間違いの無いようご注意ください。
- *メールの先着順に、定員内の方には「申し込み確認票」をメールにてご連絡致します。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載致します。入金期日までに参加費をご入金ください。期日までに入金がない場合にはキャンセルとして扱わせていただきます。
- *定員外となった方は、自動的にキャンセル待ちとさせていただきます。定員外の場合にも、「キャンセル待ちのお知らせ」をメールにてご連絡致します。
- *「申し込み確認票」もしくは「キャンセル待ちのお知らせ」がメール送信1週間後にも届かない場合には、何らかの問題でメールが届かないトラブルが考えられます。再度お申し込みいただきますようお願い致します。

以下の必要事項を同窓会学術アドレス（gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp）にメールにてご連絡ください。メールのタイトルは「同窓会学術セミナー申し込み」としていただきますようお願い致します。

必要事項 氏 名：
出身大学：
何 年 卒：
住所(含郵便番号)：
電話番号：
メールアドレス：

中込株式会社

（株）中込株式会社 代表取締役社長 中込 隆夫 様

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、四季の推移と共に業務も順調に進捗しております。誠にありがとうございます。さて、先般よりご承知のとおり、弊社は「中込株式会社」を設立いたしました。このたびは、ご承知のとおり、弊社の業務を承継いたします。今後とも、貴社と密接な関係を保ち、業務の円滑な遂行に努めます。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。よろしくお願い申し上げます。

敬啓者、貴社と弊社との関係は、これまで以上に密接な関係を保ち、業務の円滑な遂行に努めます。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。よろしくお願い申し上げます。

敬啓者

（株）中込株式会社 代表取締役社長 中込 隆夫 様

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、四季の推移と共に業務も順調に進捗しております。誠にありがとうございます。さて、先般よりご承知のとおり、弊社は「中込株式会社」を設立いたしました。このたびは、ご承知のとおり、弊社の業務を承継いたします。今後とも、貴社と密接な関係を保ち、業務の円滑な遂行に努めます。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。よろしくお願い申し上げます。

敬啓者、貴社と弊社との関係は、これまで以上に密接な関係を保ち、業務の円滑な遂行に努めます。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ

- 09:00~10:30 受付（受付）
 - 10:30~13:30 受付（受付）
 - 13:30~15:30 受付
 - 15:30~18:00 受付
 - 18:00~19:00 受付
- お問い合わせ先：中込株式会社 代表取締役社長 中込 隆夫 様
- お問い合わせ先：中込株式会社 代表取締役社長 中込 隆夫 様